

「食品開発研究所オープンサロン」今年度から開設しています！

食品開発研究所では今年度から、食品関連企業の経営層の方々と意見交換を行う「オープンサロン」を開催しています。

今年の8月から毎月1回のペースで「オープンサロン」を開催していますが、10月25日に開催したサロンでは、当センターをご利用いただいている企業様や他の団体の方にご参加いただきました。ブライン凍結装置を用いた急速凍結デモや開発中のフードロス素材の応用、カプセル化技術について紹介し、質疑・応答等を行いました。



急速凍結デモの様子

また、参加者様同士の意見交換の際、傷ついた農産物活用に関するご相談を投げかけていただき、それによって課題や提案など活発な意見交換となりました。

参加者の方からは、「最新の研究に接することができた」「他の企業との交流ができ、会社見学の機会を得た」などのご感想をいただきました。今後も企業の皆様の協力や連携にも繋がられるよう、サロンを開催して参ります。

詳しくは、食品開発研究所までお問い合わせください。

食品加工品を
改善したい！

開発のヒントになる
情報が欲しい！

こんな食品加工を
請け負ってくれる所
無いかな？

研究所では、どんな
機器が使えるの？

いい食材があるんだけど、
使い道が決まっていない

こんな製品が、
創りたいんだけど、
出来ないかな？

開催日

毎月20日以降 最初の水曜日 13:30～

(水曜日が祝日の場合には、翌日の木曜日)

第5回 令和5年12月20日(水)

第6回 令和6年1月24日(水)

第7回 令和6年2月21日(水)

第8回 令和6年3月21日(木)

鳥取県産業技術センター活動成果発表会の録画を配信します！

当センター活動成果発表会を令和5年11月21日(火)に開催しました。

録画を令和6年2月29日(木)まで配信します。ご希望の方は、ホームページよりお申し込みください。

第4期重点分野の活動事例紹介

- 生産性向上のためのAI・IoT・ロボット技術分野
パッド印刷の特徴を考慮したAI画像処理による
フィギュア面相印刷の不良検出
- 次世代自動車関連部品の生産技術分野
磁束密度制御治具を活用した異形状金属
部品の選択的高周波誘導加熱法の開発
- 豊富な水産資源を活用した高付加価値食品の開発分野
交流電気抵抗を利用したベニズワイガニの選別技術

研究成果・人材育成・支援事例

①電子・有機素材分科会

- A1[研究成果]人体通信技術を活用した作業データの収集・分析ツールの開発
- A2[人材育成]製造工程のリアルタイム可視化システムの開発支援
- A3[技術移転]鳥取県因州和紙を使った印刷用和紙の製品化と
印刷和紙見本帳の作成
- A4[支援事例]人材育成および共同研究による技術支援
- A5[支援事例]X線透過装置、X線CT装置による不良発生原因の解明

②機械素材分科会

- B1[研究成果]自動車軽量化に向けたマグネシウム材料の高度化
- B2[研究成果]繰り返し熱処理による金属組織の微細化とその評価
- B3[人材育成]とっとりロボットハブを活用した自動化システムの実装検証と人材育成
- B4[支援事例]実験検証の難しいものはCAE解析で
- B5[支援事例]形状測定機と分光分析装置の活用事例

③食品開発分科会

- C1[研究成果]花蕾が落ちにくく食感が低下しない冷凍ブロッコリーの開発
- C2[研究成果]減塩だけれどおいしいをテーマにした食品開発
- C3[人材育成]機能性評価や製品開発支援の事例紹介
- C4[人材育成]香り成分を指標とした焙煎ももぎ茶の開発
- C5[支援事例]食品物性試験機(クリープメータ)の活用事例



←左記QRコードまたはセンターホームページの
トップページの「お知らせ」より申し込みください

発行/

2023年に100周年を迎えました

地方独立行政法人
鳥取県産業技術センター
Tottori Institute of Industrial Technology

ホームページ

<https://tiit.or.jp/>

E-mail

tiitkaku@tiit.or.jp

〒689-1112 鳥取市若葉台南七丁目1番1号

TEL (0857) 38-6200 (代表)

FAX (0857) 38-6210

